

令和2事業年度

決 算 報 告 書

自：令和2年4月 1日

至：令和3年3月31日

国立大学法人長崎大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,134	16,374	240	(注1)
施設整備費補助金	3,550	4,438	888	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	6,354	6,924	570	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	41	41	-	
自己収入	36,022	36,139	117	
授業料、入学料及び検定料収入	5,094	4,659	-435	(注4)
附属病院収入	30,365	30,934	569	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	563	546	-17	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,834	6,748	1,914	(注7)
引当金取崩	795	837	42	(注8)
長期借入金収入	1,437	1,429	-8	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	763	170	-593	(注10)
計	69,930	73,100	3,170	
支出				
業務費	51,456	46,958	-4,498	
教育研究経費	20,846	20,411	-435	(注11)
診療経費	30,610	26,547	-4,063	(注12)
施設整備費	5,028	5,908	880	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	6,354	6,557	203	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,834	4,810	-24	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,258	2,224	-34	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	69,930	66,457	-3,473	
収入-支出	-	6,643	6,643	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった特殊要因経費及び基幹経費の追加交付等があったことにより、予算金額に比して決算金額が240百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、予算段階では国立大学法人先端研究等施設整備費補助金を補助金等収入として整理していたが、決算額の計上区分を施設整備費補助金に整理したこと等により、予算金額に比して決算金額が888百万円多額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった新型コロナウイルス感染症関連の補助金の交付等があったことにより、予算金額に比して決算金額が570百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金366百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、高等教育の修学支援新制度による授業料等減免支援の実施に伴い、授業料及び入学料免除者の増加等があったことにより、予算金額に比して決算金額が435百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響によるPCR検査収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が569百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、予算段階で見込んでいた病院駐車場利用料収入及び受取利息等の減少により、予算金額に比して決算金額が17百万円少額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が1,914百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、賞与引当金対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっております。

(注9)長期借入金収入については、(医病)ライフライン再生(構内交換設備等)工事の事業計画変更により、予算金額に比して決算金額が8百万円少額となっております。

(注10)目的積立金積立金取崩については、附属病院院内環境整備及び医療機器整備等事業の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額が593百万円少額となっております。

(注11)教育研究経費については、効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が435百万円少額となっております。

(注12)診療経費については、新型コロナウイルス感染症関連の診療稼働の増加に伴う医薬品費及び診療材料費の増加等により多額となる要因があったものの、新型コロナウイルス関連補助金による診療経費の補填や目的積立金の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額が4,063百万円少額となっております。

(注13)施設整備費については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が880百万円多額となっております。

(注14)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が203百万円多額となっております。

(注15)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等の繰越の増加により、予算金額に比して決算金額が24百万円少額となっております。

(注16)長期借入金償還金については、利率が見直され支払利息が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が34百万円少額となっております。